

○事業所名	遠軽町母子通園センター		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 1日 ~ 2025年 3月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2025年 3月 1日 ~ 2025年 3月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 8月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが安心感を持って通所を楽しみにしていること。また保護者が事業所の支援に満足していること。	子どもたちが興味のあることを取り入れ、楽しく療育指導にとりくむことができるように工夫しています。子どもたちが「また行きたい」「楽しかった」と思ってくれることで保護者が利用しやすい事業所になるとしています。	子どもの人権を尊重し、提案と同意、合意を得ながら支援にとりくむようにする。
2	日ごろから子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていること。共感的に支援をしていること	定期的な面談や声かけを行うなかで、保護者との信頼関係を良好に保ち、的確な情報提供ができるように心がけています。	関係機関と密に連絡を取り合い、多角的・多面的な支援ができるように情報共有を行い、保護者や子どもへ返していく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信する。	ホームページやSNSで発信できていることが少ない。	情報発信の方法などについて、今後検討できると良い。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援が弱い。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援が弱い。	仕事を持っている保護者がほとんどなので平日の日に保護者向けの事業を実施しても、参加することが難しい。	保護者会活動やきょうだい支援など、会の組織や活動の実施は難しいが、保護者学習会を開催し、他の保護者と顔を合わせる機会を設けるようにしている。療育指導の中できょうだい児とのかわりや悩みなどの声が聞かれたときには情報提供などができると良い。
3	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会が無い。	保育所や認定こども園に平行通園している利用者が多いため、必要が無い。	保育所や認定こども園を利用していなかったり、これから利用を考えたという話があったときには、保育所や認定こども園の情報を提供する等検討したい。